

I 目指す学校像

国分寺市「すべての人を大切にするまち宣言」及び第2次国分寺市教育ビジョンにおける「人と人がつながり、学びが循環するまち」を踏まえ、Society5.0時代を見据えた教育活動を行い、教育目標実現のため以下の内容の実現を目指す。

1 学ぶ喜びが実感できる学校

学ぶ楽しさを実感し、生涯にわたり学び続けようという意欲にあふれる生徒を育てる

2 ふれあう喜びに満ちた学校

多様性を尊重する態度を育み、心豊かな生徒を育てる

3 夢を育む学校

将来に対する夢と希望をもち地域・社会と関わりながらよりよい人生を送ろうとする生徒を育てる

II 教育目標

世界の人々の幸福を願い、主体性をもって生きる人になる

- 健康で たくましく生きる (たくましい体の育成)
- みずから学び 創造する (確かな学力の定着、輝く未来の創造)
- 心豊かに 互いを尊重する (豊かな心の醸成)

校訓 「師弟同行」 「夢」

III 中期的目標と方策

1 学ぶ楽しさ、わかる喜び、学び続けようという意欲を育む授業を工夫し、確かな学力の伸長を図る

- カリキュラム・マネジメントの確立
- 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善の推進
- 1人1台のタブレット型パソコンやICT機器の活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- 個別・補充指導等による基礎的な知識・技能の確実な習得
- 少人数・習熟度別指導の充実
- 小中連携による授業のユニバーサルデザイン化の推進
- 読書活動の充実
- 地域を題材とした体験的・問題解決的な学習による国分寺学の推進
- 校内研修の充実とOJTの一層の推進による教員の指導力向上

2 人と人とのふれあいを通し、自己肯定感を高め、心豊かに自信をもって生きていく力を育む

- 豊かな心を育む道徳教育・人権教育の充実
- 明るいあいさつが響き合い、安心して生活できる学級・学年・学校づくり
- 一人一人のよさを見つけ、褒め、認め、励まし、伸ばす生徒指導の充実
- 将来の夢を育む教育活動の充実
- 生徒が、深い自己理解に基づき、「何をしたいのか」、「何をすべきか」、主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択・設定して、この目標の達成のため、自発的、自律的、かつ、他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断し、実行する力(自己指導能力)の育成
- 「二中いじめ防止基本方針」に基づく、いじめの未然防止、早期発見、早期対応の徹底

- リーダーシップ、フォロワーシップを核とした生徒主体による学校行事の推進
- 地域行事への参加やボランティア活動の推進

3 特色ある教育活動を推進し、地域から信頼される学校を創造する

- 社会に開かれた教育課程の実現
- 保護者、地域、小学校と連携した多様な教育活動の推進
- 通常学級と特別支援学級の交流及び共同学習を推進し相互理解、豊かな人間性を育む
- 働き方改革に向けた合理的でかつ効率的な学校運営の推進
- 積極的な、学校の教育活動の情報発信
- 部活動の地域移行を見据えた方向性の検討

IV 今年度の取組目標と方策

	取組目標	方策
確かな学力の 定着	●基礎的・基本的な知識及び技能の習得	◇1人1台のタブレット型パソコンを効果的に活用し基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図る。また家庭学習でのタブレット型パソコンの活用をすすめる。 ◇定期テスト前の質問教室や補充学習教室を実施し、基礎・基本の着実な定着を図る。
	●主体的、対話的で深い学びの実現	◇毎時間、授業のねらいを明確に示すとともに、終末での授業の振り返りを行い、何が理解できたか、何ができるようになったのかを自覚させる指導を工夫する。 ◇ジグソー法の視点に立った協働学習を授業に取り入れ対話的な学びをすすめる。 ◇自ら考え、選択し、決定するなど生徒の自己決定の場を広げ自己指導能力を高めるとともに、自分の考えを自分の言葉で表現する場を数多く設ける。 ◇1人1台のタブレット型パソコンを効果的に活用し、「アナログ+デジタルの授業」から「アナログ×デジタルの授業」へステップアップを行い、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。
	●指導と評価の一体化	◇適正で信頼性が得られ、妥当性のある評価実現のために、評価方法、評定のための手順・方法について共通理解を図る。
豊かな心の 醸成	●道徳教育の充実	◇道徳教育の全体計画及び別葉に基づき、全教育活動を通して道徳教育を進める。 ◇「考える道徳」「議論する道徳」の授業を工夫する。 ◇ローテーション道徳を実施し、複数の教員の授業を受けることで生徒の考えを更に深めるとともに、教員の授業力向上につなげる。
	●学校居心地感を高める	◇「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」「安全・安心な風土の醸成」の視点での生徒指導を実践する。

	取組目標	方策
特別支援教育の充実	●個に応じた教育支援の充実と相互理解の促進	◇知的障害、自閉症・情緒障害特別支援学級設置中学校としての使命と責務を全教職員で共有し、全教職員で指導にあたる。また設置校であることを活かし、全ての教員が特別支援教育の指導力を高める。 ◇運動会、くぬぎ祭音楽会など、通常の学級と E 組、F 組生徒との交流方法を工夫する。 ◇個々の生徒の状況に応じて、交流及び共同学習を積極的にすすめる。
特色ある教育活動の推進	●地域に根ざした教育活動の推進	◇国分寺調査、職場体験、留学生との交流、進路選択に関する学習、地域や学区の小学校と連携した取組を充実させ、国分寺学を推進し、地域に親しみ、地域に学び、地域を考え、地域に貢献する生徒の育成を図る。 ◇「地域の安全・安心を考える会」など、地域と連携した行事を工夫する。
	●小中連携教育の推進	◇二中学区としての目指す子ども像を共有し、小中9年間の系統的な教育を推進する。 ◇隣接する第七小学校と、児童・生徒や教員同士の交流を積極的に行う。合同避難訓練、家庭科での小1との交流学习、F組生徒による小学生への読み聞かせなどを実施する。
	●二中らしさの継承と深化	◇学級活動、生徒会活動、学校行事や学年行事等あらゆる場面で生徒のリーダーシップ、フォロワーシップを発揮させ、二中の伝統を継承・深化させるとともに、責任感・協調性・自主自立の精神を育む指導を工夫する。
教育課題への対応	●いじめや不登校に関する取組の推進	◇連絡帳等を活用し、生徒とともに考え、語り合える人間関係を築き、いじめや不登校傾向の早期発見、早期対応に努める。 ◇校訓である「師弟同行」を心がけ、生徒の活動場所に常に身を置き、小さな変化も見逃さない指導體制を充実する。 ◇一人一人のよさを見つけ、褒め、認め、励まし、伸ばし自己肯定感を高める。 ◇教育相談部会においてケース会議を適宜開き、個々の生徒の具体的な支援策を協議するとともに、関係機関との情報連携を行う。 ◇サポート教室での支援を充実させ、学習支援や不登校生徒への対応を充実させる。
	●夢を育む教育活動の充実	◇生徒には日頃の活動に目標をもたせ、その達成に向け見守りや支援を行う。

	取組目標	方策
その他	●令和7年度コミュニティー スクール化への準備をすすめる	◇実施に向けての校内委員会を設置し準備にあたる。
	●教職員のライフ・ワークバ ランスの実現	◇諸会議の効率化やS S S等の人材を活用し、教員業務 を精選するとともに、校務支援システムを利用して業務 改善を推進する。 ◇「第二中学校部活動に係る活動方針」に則った適正な 部活動を実施するとともに、部活動支援員の活用など教 職員の負担軽減を図る。